

〈平成19年度〉

静岡県浜松市における詳細環境調査等業務

業務のあらまし

環境省が平成15年に実施した『昭和48年の「旧軍毒ガス弾等に関する全国調査」フォローアップ調査』において、「昭和25年9月以降（浜名湖掃海後）に旧軍の毒ガス入りと思われるドラム缶を、3～5名の人物が浜松市呉松町の松林内に埋設している現場を目撃した」との証言情報が寄せられました。

環境省では、この情報を基に、平成17年度及び平成18年度に環境調査等を実施しました。埋設情報のあった一帯において、物理探査（レーダー探査・磁気探査）を実施した結果、埋設情報と概ね合致する検知点が確認されましたが、表層ガス及び周辺土壌を調査した結果、毒ガス成分は検出されず、この結果を踏まえ、現時点において、日常生活上の安全性は確認されています。

環境省では、このたび、自然環境に配慮しながら、安全確実に掘削確認調査を実施することとしています。

作業工程のフロー

